TPU NEWS

富山県立大学ニュース

NO.140
| Winter | 2024

TOYAMA Prefectural University

ドンドンマスマス 富山県立大学

p.2-3 Close-Up県大
工学部 情報工学部
「OPEN CAMPUS 2024開催」
p.4-5 キャンパストピックス
p.5 インフォメーション
p.6 受賞情報
p.6 学生レポート
p.7 研究紹介
p.8 サークル紹介・スケジュール

今夏に開催された
工学部・情報工学部の
「オープンキャンパス2024」
を紹介じゃ！

「ドンドンマスマス 富山県立大学」
プロジェクトリーダー ドンマス教授

Close-Up 県大

工学部　情報工学部

OPEN CAMPUS 2024 開催

工学部、情報工学部のオープンキャンパスを7月28日（日）と8月9日（金）に開催しました。のべ参加者数は643名（7/28：310名、8/9：333名、保護者含めず）。中央棟をメイン会場に、研究室見学や模擬講義を実施。実験機器の使い方のレクチャーなどもありました。また保護者向けに、学内施設案内や在学生による学生生活の発表も行われました。

受 付

メイン会場の中央棟は、令和2年4月供用開始の9階建ての新しい建物。吹き抜けのある解放感あふれる中央棟に高校生も保護者も驚いていました。1階フロアでは本学学生と担当職員が出迎え、参加者がエントリーした学科ごとに受付を行いました。

研究室見学

見学コースは工学部5学科、情報工学部3学科の、学科ごとに設けられ、参加者は10名程度の班に分かれて見学を行いました。研究室では担当教員が、研究テーマとともに実験機器の扱い方などを紹介。「この機械はノーベル賞を受賞された博士が、その契機となる発見をされた時に使われたものと同じ機械で、1台数億円します」と話すと、高校生の間からは驚きの声が上がっていました。

工学部 環境・社会基盤工学科
星川 圭介教授

工学部 機械システム工学科
宮本 泰行教授

工学部 医薬品工学科
小山 靖人教授

模擬講義

工学部では5名、情報工学部では3名の教員が、30分程の模擬講義を行いました。参加者は、スクリーンに表示されるキーワードや図表をメモするなど、将来の学生生活に想いをはせているようでした。

情報工学部
データサイエンス学科
本吉 達郎准教授

情報工学部
情報システム工学科
西原 功講師

情報工学部開設記念フォーラム開催！

令和6年4月の情報工学部開設を記念して、8月9日（金）に「情報工学部開設記念フォーラム」を開催しました。フォーラムでは、神戸大学DX・情報統括本部情報基盤センターの藤井信忠教授を招いての「システム情報学を礎としたまちづくり」と題した基調講演や、本学教員による一般講演を実施しました。同日午前中には工学部、情報工学部のオープンキャンパスが行われたため高校生の参加も多数見受けられ、またオンラインによる配信も行われて幅広い方々に視聴していただきました。

神戸大学
藤井 信忠教授

神戸市のまちづくりについて
質問する参加者

学生発表

保護者・教員コースでは、本学学生が富山県立大学の学部学科の構成（看護学部看護学科を合わせて3学部9学科）や教育の特長（少人数教育）、進路（就職率毎年ほぼ100%、進学率45.2%）、4年間の学習課程（基礎科目、総合科目、専門科目、キャリア形成科目）などを紹介しました。

個別相談コーナー

プログラム終了後には、個別相談コーナーにおいて参加者からの質問に応じました。高校生からはゼミの配属のされ方や卒業研究のテーマ設定など、保護者からは下宿や通学に関する問い合わせなどがありました。

Campus Topics

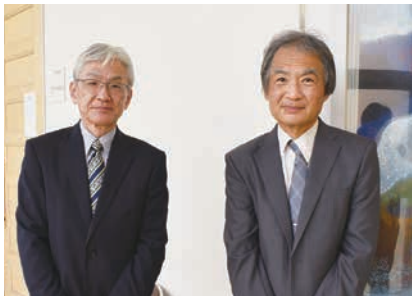
令和6年度 富山県立大学研究協力会総会

5月17日（金）、ボルファートとやまにおいて、「令和6年度富山県立大学研究協力会総会」が開催されました。本総会では役員の改選が行われ、谷川正人会長（コーセル株式会社相談役）が退任となり、新たに高木章裕副会長（株式会社タカギセイコー代表取締役社長）が会長に就任されました。

また、総会後には、研究協力会設立20周年記念式典が執り行われ、富山県立大学から功労者に対し感謝状を贈呈いたしました。

名誉教授称号授与式

本年3月31日に退職された前本学教授の大島徹氏及び太田聡氏に、その功績を称え、開学記念日の6月1日付けで名誉教授の称号が授与されました。大島氏（写真左）は、34年にわたり本学教員として勤務し、キャリアセンター長等を歴任され、パステル工房企画運営委員長としても尽力されました。太田氏（写真右）は、広報活動チームリーダー等を歴任され、国際交流委員長としても尽力されました。



ダ・ヴィンチ祭2024

ダ・ヴィンチ祭（8月3日（土）開催）が、約1,900名の皆様にご来場いただき、大盛況のうちに終了しました。

今年度は、こども科学製作教室や科学実験の実演・体験など43企画を実施しました。参加した子どもたちからは「たくさん学べて楽しかった」「科学に興味をもった」「また来年も参加したい」など、嬉しい声が聞かれました。

令和6年度前期 地域協働授業成果発表会

7月11日（木）、12日（金）に「地域協働授業成果発表会」を開催し、令和6年度前期に実施された授業や研究室およびサークルなどでの地域協働の取組みについて、学生がプレゼンテーションを行いました。射水市内の小学校と連携して実施したプログラミング体験授業等の発表がありました。

キャリア支援（就職・進学）セミナー

8月25日（日）に「キャリア支援（就職・進学）セミナー」をオンラインで開催しました。当日は、伊藤キャリアセンター所長による本学の就職・進学状況や就職支援体制についての説明、㈱マイナビによる就職活動に関する講演、学生3名による就活体験談の発表を行い、74名の保護者や学生に参加いただきました。

起業に関する集中講義「スタートアップ特論」

9月3日（火）～5日（木）、東京大学バーチャルリアリティ教育センターにおいて、下山学長、大倉講師及び非常勤講師6名による夏期集中講義を開催し、学生・教職員9名が受講しました。

講師らから、実務的なお話や起業を考えるうえでの心構えをお聞きし、起業家精神を身に着けることができました。

DX教育研究センター 企業×県大生 新規ビジネス創出 アイディアソン開催

9月26日(木)と27日(金)の2日間、富山県内の企業3社と学年や専門分野の異なる本学学生がグループを組み、グループワークによる『未来予想』、企業訪問を通じて発見した『企業の強み』、『学生が学んでいるテクノロジー』を掛け合わせて、新規ビジネスのアイディアを創出しました。

アイディア発表

アイディアへのフィードバックタイム

看護学部集中講義 (看護ケアとユマニチュードⅠ～Ⅳ)

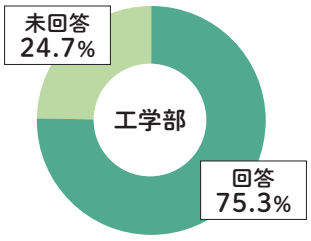
ユマニチュード®創始者のイヴ・ジネスト客員教授を迎え、9月24日(火)から5日間にわたり、全学年を対象に「看護ケアとユマニチュード」が開講されました。哲学やケア技術の理論を学んだ後、互いが患者役になるケア演習や、紙上事例のケアプランを立案するなど、各学年の到達目標に向かって学修を深めました。

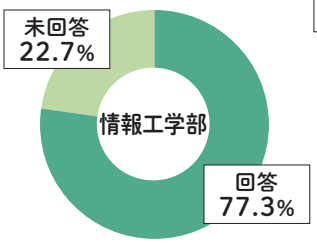
Information

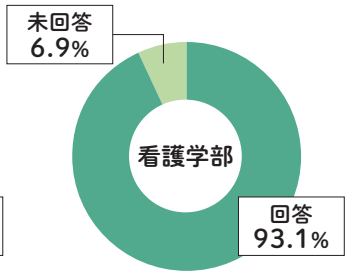
Information 1 令和6年度 安否確認システム(ANPIC)を用いた訓練結果について

富山県内で震度5弱以上の地震を感知した際に、学生、教職員等の安否確認を迅速に行うことができる『公立大学法人富山県立大学安否確認システム (ANPIC)』を用いた安否確認訓練を実施しその結果は、次のとおりとなりました。

【安否報告率】
(7月12日)
全体 82.5%
(学生、教職員等)







◆大学院など
工学研究科 ・・・・・77.7%
看護学研究科 ・・・95.0%
看護学専攻科 ・・・96.2%

●今後について

本システムは、万一の際にご家族も学生の安否を確認できるシステムであることから、今後も訓練を重ねて行い、安否報告率の向上を目指します。

受賞情報

教員の受賞
受賞日順、学科名、職位は受賞時のもの

伊東 聡 准教授
神谷 和秀 教授
松本 公久 教授
／情報工学部 知能ロボット工学科
津田樹さん（博士前期課程知能ロボット工学専攻1年）と共同受賞

公益財団法人工作機械技術振興財団
工作機械技術振興賞・奨励賞

形状偏差の自律的測定を導入したCMMプローブ球の精密測定
R6.6.18受賞

黒田 啓介 教授／工学部 環境・社会基盤工学科

American Chemical Society（米国化学会）
2023 Excellence in Review Award -
Environmental Science & Technology Letters

論文誌Environmental Science & Technology Lettersにおける2023年の優秀査読者賞
R6.9.10受賞

濵野 初恵 講師／看護学部 看護学科

一般社団法人 日本腎不全看護学会
第27回日本腎不全看護学会学術集会　大会長賞

Precede-Proceedモデルに基づく糖尿病透析患者における栄養改善のためのセルフケア行動構造モデルの構築
R6.11.10受賞

学生の受賞
学科名、学年、指導教員の職位は受賞時のもの

仙田 夢翔 博士前期課程 生物・医薬品工学専攻1年
日本生化学会　第42回北陸支部大会
学生ベスト発表賞
指導教員：准教授 安田 佳織、特別研究教授 榊 利之　R6.6受賞

森林 広大 博士前期課程 機械システム工学専攻1年
第73回高分子学会年次大会 優秀ポスター賞
指導教員：准教授 遠藤 洋史　R6.6受賞

津田 樹 博士前期課程 知能ロボット工学専攻1年
伊東聡准教授、神谷和秀教授、松本公久教授と共同受賞
公益財団法人工作機械技術振興財団
工作機械技術振興賞・奨励賞
指導教員：准教授 伊東 聡　R6.6受賞

山田 樹 博士前期課程 機械システム工学専攻1年
公益社団法人 自動車技術会2024年春季大会
学生ポスターセッション優秀賞
指導教員：講師 山田 周歩　R6.7受賞

宮本 樹 博士前期課程 知能ロボット工学専攻2年
SICE Annual Conference 2024 学生発表助成
指導教員：教授 小柳 健一　R6.8受賞

吉岡 秀麿 博士前期課程 知能ロボット工学専攻1年
Best Student Paper Award
The 6th International Symposium on Advanced Technologies and Applications in the Internet of Things
指導教員：講師 孔 祥博　R6.8受賞

宮本 樹 博士前期課程 知能ロボット工学専攻2年
SICE Annual Conference 2024 若手奨励賞
指導教員：教授 小柳 健一　R6.8受賞

高田 諒 博士前期課程 知能ロボット工学専攻2年
VML自動運転ハッカソンinFSS2024における入賞
指導教員：教授 高木 昇、助教 布施 陽太郎　R6.9受賞

河合 渉 博士前期課程 知能ロボット工学専攻1年
FSS優秀発表賞
指導教員：教授 高木 昇、助教 布施 陽太郎　R6.9受賞

荒木 奏瑠 博士前期課程 知能ロボット工学専攻1年
第23回情報科学技術フォーラム FIT奨励賞
指導教員：講師 中井 満　R6.9受賞

池上 怜汰 博士後期課程 総合工学専攻2年
LIFE2024 若手プレゼンテーション表彰
指導教員：教授 小柳 健一、准教授 塚越 拓哉　R6.9受賞

藤下 龍澄 博士前期課程 環境・社会基盤工学専攻2年
土木学会 2024年度地球環境論文奨励賞
指導教員：教授 呉 修一　R6.9受賞

蔵川 卓士 博士前期課程 生物・医薬品工学専攻2年
第2回環日本海生命科学研究会「最優秀発表賞」
指導教員：教授 生城 真一、准教授 古澤 之裕　R6.9受賞

Report from students 学生レポート

私の研究生活

工学部 医薬品工学科 4年　青山 紗子

医薬品工学科・長井研究室では、慢性炎症が関わる生活習慣病の病態解明と予防法開発研究を行っています。本邦では生活習慣などの要因に伴い、脂肪肝患者数が増加しており、今後有効な対策を施さないと、脂肪肝を原因とした肝がん患者数が増加すると予測されています。そこで私は、脂肪肝モデルマウスにおける免疫系と腸内細菌の役割を調べています。将来的にはこれらをターゲットにした脂肪肝予防法の開発が期待できます。

研究を進めていく中で、綿密に計画・準備をしていても期待通りの結果が得られないなど、様々な課題に直面しますが、その度になぜ上手くいかなかったのかを分析し、課題解決に向けて毎日取り組んでいます。実験が成功することはもちろん、自分自身の成長を感じるととても嬉しいです。

指導してくださる先生、支えてくださる先輩方、お互いを高め合える同期がいることに感謝し、これからも長井研究室でたくさんのことを学びたいです。

研究室での実験の様子▶

◀学生居室の様子

研究紹介-①

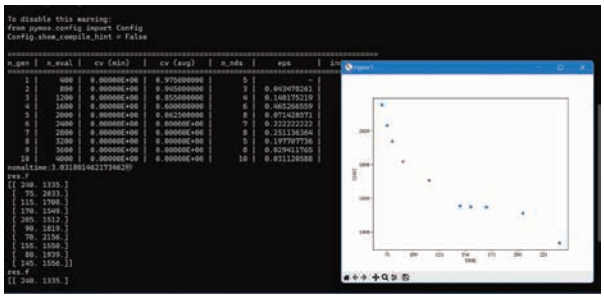
情報工学部 データサイエンス学科／講師 アントニオ オリヴェイラ ズィンガ レネ

社会問題を理解するためのデータと最適化の使用

社会問題とは、日々の生活で生じているものの、いまだに解決に至っていない問題全般を指します。具体的には、環境問題、少子高齢化、経済格差、人権、食糧危機やエネルギー供給問題などがあげられます。

データと最適化は、社会問題を理解するための強力なツールです。例えば、貧困や教育格差などの問題において、大量のデータを分析することで、特定の地域や集団におけるパターンや原因を明らかにできます。さらに、最適化技術を用いることで、リソースの効率的な配分や政策の効果的な実施方法を見つけることが可能です。こうしたアプローチにより、複雑な社会問題に対する解決策がより科学的に導き出されます。

本研究室は、最適化技術やさまざまなデータ分析手法、IoT デバイス技術を使用して、複雑なデータを解析し、傾向を把握する能力の開発に重点を置いています。最適化とデータ分析を組み合わせることで、医療、製造、輸送、サプライ チェーン、金融、政府、自然科学、経済、人工知能など、多くの分野で実際の問題を解決できます。政策立案者が複雑なデータから実用的な洞察を引き出し、予測モデルで未来を予測し、データに基づいた効率的な意思決定を行うのを支援することを目指しています。



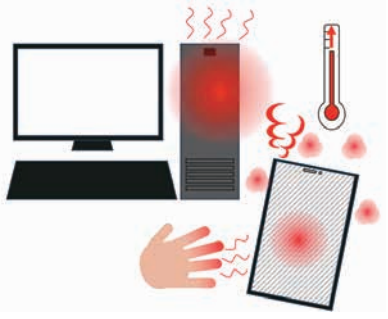
複数の組み合わせから最適な組み合わせを計算する研究

研究紹介-②

工学部 機械システム工学科／講師 木伏 理沙子

壊れにくい安全な機械を設計するための“熱設計”に関する研究

近年の電子機器は、性能が益々向上しています。学生の皆さんが卒業する頃には、今よりもさらに高性能で便利な機械が製品化されていることと思います。電子機器の性能が向上することで、昔では想像できなかったほど小さい機械が多くの人に利用されています。外見では大きく見える機械の中にも、多くの機能を取り入れるため、小さな電子部品がたくさん搭載されています。それらの機械には半導体チップが使われており、その半導体チップに電気を流すことで、温度が上昇してしまいます。温度が高くなりすぎた場合には、誤動作、溶ける、燃える等の可能性があり、機械によっては人命にも関わる事態に発展してしまいます。そこで安全な機械を作るためには、どうしても発生してしまう熱を別の場所にスムーズに移動させる必要があります。電子機器の機能の向上・小型化に伴い、熱を移動させる=放熱するための技術も向上していかなければなりません。それぞれの機械に合わせた放熱のための構造やシステムを作ることも、機械設計のうちで非常に重要なポイントになります。放熱に大きな電力を使えば冷やすこともできる場合もありますが、できるだけエネルギーを無駄に利用せずに、省エネな放熱技術を開発するため研究を進めています。



電子機器からの発熱

スノーボードサークル

TPU Circles
サークル紹介

こんにちは！スノーボードサークルです。本サークルは昨年の1月に設立された新しいサークルです。不定期で活動を行っており、スノーボードだけでなくその他のアウトドア体験やBBQ、食事会を計画しています。多くの人にスノーボードに触れる機会を設けて楽しんでもらうことを目的としています。大学生からスノーボードを始める人がほとんどですので初心者や経験者関係なく楽しめるサークルを目指しています。新しく設立されたサークルで1年生も多く入部していただきました。「スノーボードは難しそう」、「運動は得意ではない」。このような心配はいりません。練習すれば滑れるようになります！少しでも興味のある方は気軽にインスタグラムのDMでコメント・質問をしていただければと思います。

サークル活動は大学生活を送る上でとても重要な時間になると思いますので、本サークルのみならず興味のあるサークルに積極的に参加してほしいと思います。

Instagram：tpu_snowboard

Schedule
スケジュール【令和6年度】

December 12月

射水キャンパス
- ●2日(月) 大学院工学研究科入学者選抜
- ●7日(土)、8日(日) 学内合同企業研究会

富山キャンパス
- ●12日(木) キャリア支援イベント「就活準備スタート交流会」
- ●23日(月) キャリア支援イベント「履歴書・面接・小論文対策講座」

January 1月

- ●11日(土) 社会人向けセミナーレディメイド型講座 情報システム工学コース
- ●18日(土)、19日(日) 大学入学共通テスト

射水キャンパス
- ●9日(木) 第5回進路ガイダンス
- ●15日(水)、16日(木) 地域協働授業成果発表会（1月20日(月)～31日(金) ポスター展示）
- ●24日(金) 私費外国人留学生入試
- ●27日(月) 大学院工学研究科入学者選抜
- ●23日(木)～2月10日(月) 授業又は試験又は補講

富山キャンパス
- ●13日(月) 大学院看護学研究科(修士課程)第2回/大学院看護学研究科(博士後期課程) 入学者選抜
- ●31日(金) 大学院看護学研究科(修士課程)第2回/大学院看護学研究科(博士後期課程) 合格発表
- ●23日(木)～2月10日(月) 授業又は試験又は補講

February 2月

- ●10日(月) 後期授業終了
- ●25日(火) 一般選抜(前期日程)
- ●中旬 スキー講習会

射水キャンパス
- ●中旬 卒業研究発表会 修士論文審査発表会

富山キャンパス
- ●20日(木) 看護学研究Ⅱ発表会

March 3月

- ●8日(土) 一般選抜(前期日程)合格発表
- ●12日(水) 一般選抜(後期日程)
- ●22日(土) 学位記授与式
- ●22日(土) 一般選抜(後期日程)合格発表

※令和6年10月1日現在の予定であり、今後予定が変更になる可能性があります。最新の情報は大学HPをご覧ください。

編集後記

富山県立大学ニュース第140号では、7月28日(日)、8月9日(金)に実施したオープンキャンパスについて紹介しています。普段はあまり見ることができない研究室や模擬講義などが開催され、参加者にとっては貴重な体験となったのではと思います。また、8月9日(金)には、情報工学部開設記念フォーラムが開催され、神戸大学 藤井教授による「システム情報学を礎としたまちづくり」と題した基調講演や本学教員による一般公演が実施されました。オープンキャンパスや講演会など普段は得ることができない経験をすることによって、新たな情報を蓄積することができると思います。そして、蓄えられた知識を持って、これからの社会で活躍されることを願っています。

さて、大学は後期講義が開始され、学部4年生、大学院生は研究活動により集中する時期です。後期の講義室では長袖を着た学生が座っているのが普通の風景ですが、今年は、半袖で講義を受けている学生が多数います。富山の10月の平均気温を見ると例年よりも2～3度も高い状況です。気温をみると秋はまだまだなのではと思いますが、学内の木々を見ると紅葉が始まっており、確実に季節が移り替わっています。ですので、気温に惑わされず、自分の研究活動・勉学を進め、2月には素晴らしい成果を見せてくれることを期待しています。

（広報委員長　石坂 圭吾）

公立大学法人 富山県立大学
富山県立大学ニュース | No.140 | 令和6年11月発行 富山県立大学広報委員会
富山県立大学ニュースは、後援会の助成をいただいて発行しています。
〒939-0398　富山県射水市黒河5180
TEL 0766-56-7500（代）　FAX 0766-56-6182　https://www.pu-toyama.ac.jp/▶
VEGETABLE OIL INK
この用紙は資源保護のためインキは植物油インキを使用しています。